

東館南集会所

〒329-0611
上三川町大字上三川1223-1

12月の集会所開放事業「蕎麦打ち教室」

「手打ちそば」を味わってみませんか。打ち方を覚えれば、年越しそばも自分で打てます。
毎年人気の教室です。初めての方もお気軽にご参加ください。



- ▶日時=12月14日(日)午前10時~正午
- ▶場所=東館南集会所
おのざき ようこ
- ▶講師=小野崎 洋子さん
- ▶材料費=300円

- ▶定員=6名(応募者多数の場合抽選)
- ▶申込み期間=12月9日(火)まで、お電話でお申込みください。
- ▶持ち物=エプロン、三角巾、タオル、飲み物
- ▶申込み先=生涯学習課 生涯学習係 ☎0285(56)9159

毎年12月4日から10日は、人権週間です。

1948(昭和23)年12月10日、国際連合の総会において、すべての人民、すべての国が達成すべき共通の人権基準として、「世界人権宣言」が採択されました。1950年には、12月10日を「人権デー」と定めました。

日本では、1949年から、毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定め、人権尊重の普及啓発を図っています。



「マイクロアグレッション」は、「人権」とどう関わるの?

マイクロアグレッションとは、無意識の思い込みによって相手を傷つけることです。些細なことを意味する「マイクロ」と攻撃を意味する「アグレッション」を合わせたものです。

差別は明確な偏見や敵意によって攻撃することですが、マイクロアグレッションの特徴は、悪意がない点です。無意識の行動やよかれと思った発言が相手を傷つけ、差別と受け取られることがあります。

マイクロアグレッションの具体例と隠されたバイアス(無意識の思い込み)

I ジェンダー(性に対する攻撃)

- ・無条件に「彼」「彼女」という表現を使う
- ・若い女の子は面倒だと考える
- ・注文されたビールを男性の前に運ぶ
- 言動の根底には、無意識の「女らしさ・男らしさ」の観念があります。受け手によっては、プレッシャーや格差を感じることがあります。

すね」という

・韓国人なので辛い食べ物が好きだと考える
人種に対する隠れた偏見は、その国や地域のイメージから来ています。アフリカ諸国の人口は約15億人、足の速い人も遅い人もいるでしょう。国籍や人種でひとくくりされることを不快に感じる人もいます。

II 年齢

- ・高齢者はパソコンが苦手と決めつける
- ・若い方に対して高圧的な態度をとる
- ・「新入社員にしては意外とできる」という
「年齢の高い方がえらい」「年齢が高いと新しい知識を得ようとしている」との思い込みが、マイクロアグレッションに繋がってしまう事例です。能力は年齢ではなく、持っているスキルや人柄から判断するものではないでしょうか。

IV 身体的特徴や障がい

- ・大柄な人に「それで足りるの?」と聞く
- ・身長が高いと「バスケットボールの経験がある?」と尋ねる
- ・「耳が不自由なのに勉強頑張ってるね!」と声をかける
身体的特徴や障がいへのアンコンシャスバイアスは、特別扱いしている点が特徴です。話のきっかけとして「ほめ」や「話題作り」に使う言葉は、相手によって不快に感じるケースがあります。

III 人種

- ・外国人を避けて通る
- ・アフリカ人だから足が速そうだと考える
- ・外国人や外国にルーツがある人に「日本語がお上手で

無意識にハラスメントの加害者になっていないか、定期的にチェックをしましょう。

▶問い合わせ先=生涯学習課 生涯学習係 ☎0285(56)9159